

令和6年度 第1回 医療・介護・住まい部会 次第
(田川市地域包括ケアシステム推進協議会)

令和6年7月11日(木) 18:00～

田川市役所 4階 第2委員会室

1 開会

2 部会長挨拶

3 部会員紹介

4 事務局報告(会議の進め方及び開催日程の変更)

5 議事

(1) 令和6年度事業の実施内容及び令和7年度事業計画について

ア 「医療と介護の情報共有の仕組みづくり」 【資料1-1】

イ 「多職種連携のための場づくり」 【資料1-1】

ウ 「住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進」 【資料1-2】

エ 「高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備」 【資料1-2】

(2) 各事業における課題等について

ア 「医療と介護の情報共有の仕組みづくり」 【資料2-1】

イ 「多職種連携のための場づくり」 【資料2-2】

(3) 令和5年度事業の実績報告について 【資料3】

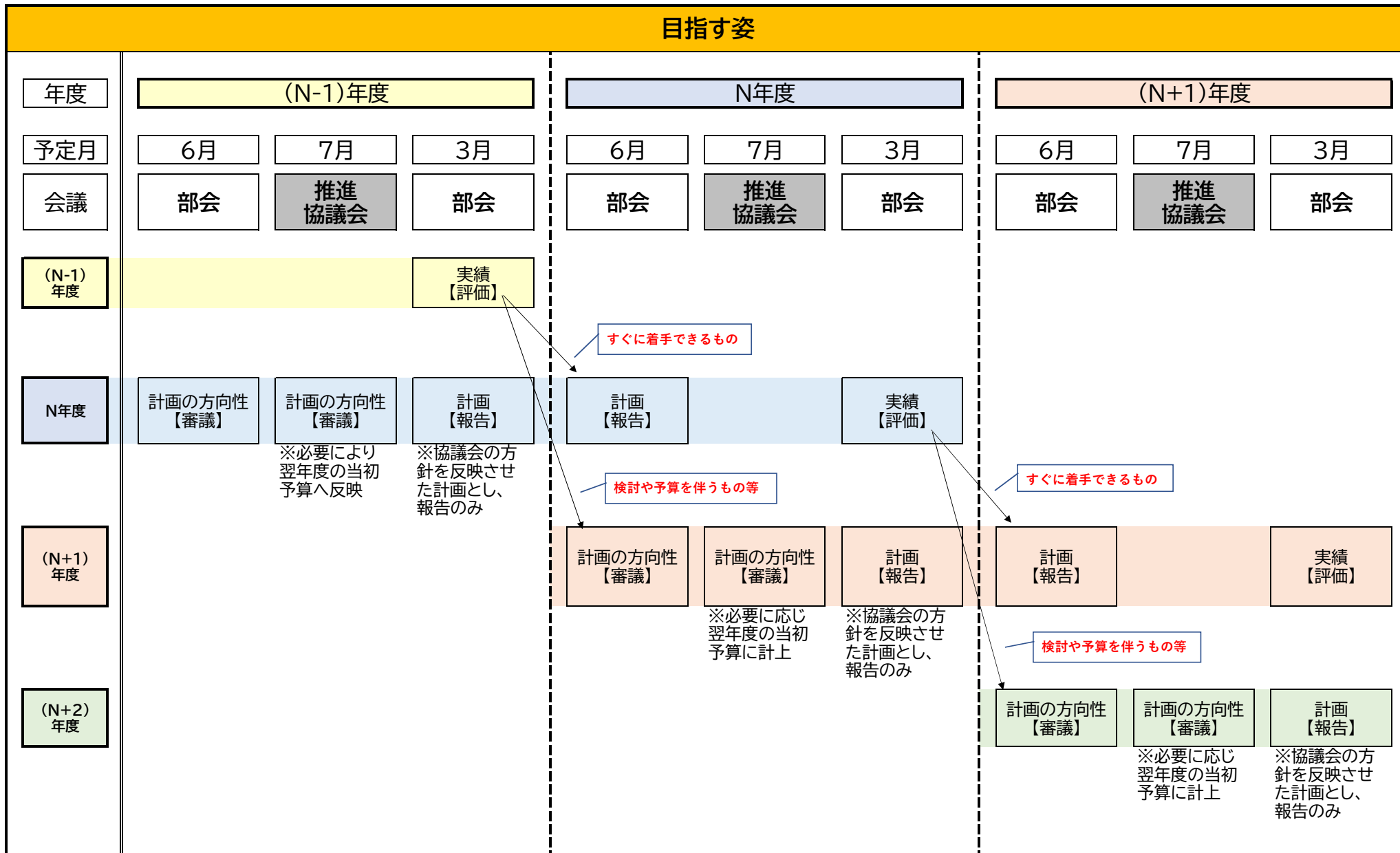
(4) 関係機関・事業所の取組状況について 【資料4】

(5) その他

6 閉会

次回 令和7年3月頃開催予定

● 地域包括ケアシステム推進協議会 開催方針



◎部会目標 高齢者が住み慣れた地域に必要な医療・介護サービスが受けられる

事業の柱	A 在宅医療・介護の提供	
事業	ア 医療と介護の情報共有の仕組みづくり	イ 多職種連携のための場づくり
担当課	保健福祉課 福祉政策係 高齢障がい課 高齢介護係	高齢障がい課 高齢介護係
令和6年度 取組内容	<p>【保健福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療と介護の連携 (継続) 2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築を目指すとともに、2040年に向けて地域共生社会を実現するという国の方針に向けて、病院と介護施設等との情報共有や連携を推進し、市民の地域での暮らしを最後まで支援することを目指す。 入退院時の医療と介護間の情報提供が円滑に行えるよう、市内共通様式の作成に取り組んでいる。 ・入院時情報提供書(簡易版) … 平成30年度に作成し、市内介護施設、事業所等27か所に配布済。 ・退院時情報記録書(共通様式) … まず、市内で入退院の取扱いが多い7病院での活用を目指している。 <p>【高齢障がい課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療・介護関係者間の情報共有 (継続) 地域の医療・介護の資源を把握する。 ・在宅療養のしおりの更新(医師会) ●入退院時等連携会議の開催（年2回） (継続) 医療機関への入退院の際に、医療と介護が切れ目なく一体的に提供され、退院後の生活や療養を支えることができることを目指し、医療従事者と居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員とが情報共有や意見交換等を行う。 ・R6.8月、12月 開催予定 ●入退院時連携マニュアル作成 (継続) 要介護・要支援状態の患者(利用者)の入院から在宅への復帰を円滑にし、退院後も安心して在宅で生活や療養ができるようにすることを目的として、病院関係者及びケアマネジャーの双方が、必要な情報を共有し連携するための手順をまとめたもの。 ・年に1度田川市郡で更新作成を行い、各事業所等へ周知・配布する。 	<p>【高齢障がい課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●田川地区多職種連携 (継続) 医療・介護関係者の知識の習得のための研修の支援を行う。 ・田川地区多職種連携研修会(医師会主催) 年1～2回の開催を予定 ●ケアカフェたがわ (継続) 医療・介護・福祉従事者と地域住民をつなぐ研修会の開催 年4回の開催を予定 うち1回は、規模の大きい市民公開講座を新たに開催予定
令和7年度 事業計画 (方向性)	<p>【保健福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療と介護の連携 (継続) 令和6年度の実施状況に応じて、令和7年度の方針を決定する。 (医療と介護の連携の推進を継続) <p>【高齢障がい課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療・介護関係者間の情報共有 (継続) 令和6年度事業を継続して実施する予定 ●入退院時等連携会議の開催（年2回） (継続) 令和6年度事業を継続して実施する予定 ●入退院時連携マニュアル作成 (継続) 令和6年度事業を継続して実施する予定 	<p>【高齢障がい課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●田川地区多職種連携 (継続) 令和6年度事業を継続して実施する予定 ●ケアカフェたがわ (継続) 令和6年度事業を継続して実施する予定 市民公開講座は3～4年に1回程度の頻度での開催予定のため、7年度は予定なし
その他	<p>【保健福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域医療構想等について(田川地域医療構想調整会議の内容を含む) <p>1 在宅医療等について 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築を目指している。そうした中、各医療機関の性質を生かしながら、外来機能の明確化・連携を強化(かかりつけ医機能の強化)し、患者の流れを円滑化するための検討が進められている。 令和6年3月21日開催の福岡県田川区域地域医療構想調整会議では、診療所の新規開業に伴う外来医療提供等報告書の様式見直しなどが報告された。</p> <p>2 医師の働き方改革等について 医師の働き方改革として、令和6年4月から医師の時間外・休日労働時間の上限規制が開始された。それにも影響するとして、夜間平日の小児だけでなく救急体制を飯塚地区に依存していることが課題となっている。そもそも田川地区に小児科が少なく、各小児科への負担が生じている、といった報告があった。 これらの課題については、今回の働き方改革開始後の影響について情報共有しながら、その影響への対応策を議論していく予定。</p>	

◎部会目標 高齢者が住み慣れた地域に必要な医療・介護サービスが受けられる

事業の柱	B 高齢者の居住確保	
事業	ウ 住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進	エ 高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備
担当課	建築住宅課 住宅政策係	高齢障がい課 高齢介護係 建築住宅課 住宅政策係
令和6年度 取組内容	<p>【建築住宅課】</p> <p>●民間住宅への取組みについて (継続) 市民の快適な住環境の整備を目的に、住宅リフォーム工事にかかる費用の一部を補助し、高齢者等に適した住環境の整備を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人住宅32件分・助成額740万円の予算で事業に取組む。 ・要件拡充 … 屋内事故防止等の住宅改修補助メニューを追加。 ・加算制度の開始 … 転入を伴う近居・隣居に対し、補助金額に10万円を加算する制度を開始。 ・拡充や加算制度に伴う予算確保 … 昨年度比+48%の予算を確保。 <p>●市営住宅への取組みについて (継続) 将来的な市民の住生活の安定と向上を目的に、バリアフリー化が不十分な市営住宅や老朽化している市営住宅に対し、建物の整備・住民の住替え等を計画的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転交渉 … 建替対象団地(日吉町・中央・新野上・平和)の住民の継続居住希望者7戸に対し、老朽化する住宅からの住替え等を促す交渉を継続し、住生活の向上を図る。 ・建替え整備に伴うバリアフリー化 … 向陽台団地の建替えにあたり、高層棟においては、室内のバリアフリー化や共用部のバリアフリー化(エレベーター設置)を行う。平屋棟10戸においてはさらに、車いすでの生活を想定したバリアフリー化を行う。 	<p>【高齢障がい課】</p> <p>●介護保険施設整備 (継続) 介護保険施設の整備については、福岡県高齢者保健福祉計画の中で施設整備量を計画し(総量規制)、計画期間(令和6年度～令和8年度)の整備方針を決定。本市については、今期計画(令和6年度～令和8年度)は整備予定なし。市町村に指定権がある地域密着型通所介護事業所(総量規制なし)においては、年度ごとに整備方針を決めている。令和6年度整備予定なし。</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>●市営住宅への取組みについて (継続) 将来的な市民の住生活の安定と向上を目的に、市営住宅建替えに伴う高齢者対応賃貸住宅の整備や周辺環境の整備等を計画的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートウェルネス(SWC・SW住宅)の視点を取入れた整備 … 向陽台団地の整備において、生活動線の利便性を考慮した橋梁設置、車いすに対応した平屋棟等、立地適正化計画(都市計画課)と整合をとったSWC・SW住宅の視点を取入れる。 ・高齢者向け住戸の整備 … 高層住宅へのエレベーター設置や一般住戸のバリアフリー化、車いす対応住戸の整備等により、高齢者がいる世帯でも安心して生活できる市営住宅を供給する。
令和7年度 事業計画 (方向性)	<p>【建築住宅課】</p> <p>●民間住宅への取組みについて (継続) 令和6年度事業を継続して実施する予定。</p> <p>●市営住宅への取組みについて (継続) 令和6年度事業を継続して実施する予定。</p>	<p>【高齢障がい課】</p> <p>●介護保険施設整備 (継続) ・令和7年度については、介護保険施設の整備予定なし。 ・地域密着型通所介護事業所については、令和6年度の利用実績等を鑑み整備方針を決定するが、現時点の状況では令和7年度も「整備予定なし」となる見込みである。</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>●市営住宅への取組みについて (継続) 令和6年度事業を継続して実施する予定。</p>
その他		<p>【高齢障がい課】</p> <p>●地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金(国) 介護施設等の防災・減災や感染症拡大防止に関する整備及び事業に係る経費に対して補助を行う。</p> <p>●福岡県高齢者福祉施設等施設整備費補助金(県) 特別養護老人ホーム、養護老人ホームの改修等に係る経費に対し補助を行う。</p>

事業の柱	A 在宅医療・介護の提供	担当課	保健福祉課 福祉政策係
事業	ア 医療と介護の情報共有の仕組みづくり		

事業名	令和6年度(今年度)取組内容	令和7年度(来年度)事業方針
医療と介護の連携	<p>【経緯】 病院と介護施設等の間での情報共有や連携を推進し、地域での暮らしを最後まで支援するため、令和4年度から、退院時情報記録書(共通様式)を作成し、市内病院での活用を提案してきた。</p> <p>【現状】 入院設備のある市内7病院に活用を投げかけた。現状は次のとおり。(別紙1-1) 活用中・活用可能…2院 活用予定(準備中)…1院 活用に向けて検討中…2院 活用は難しい…2院</p> <p>【課題】 特に田川市立病院と社会保険田川病院は、連携して取り組むことが望ましいと考えられるが、入退院の件数が多い急性期病院での活用をすぐに進めるのは難しい状況。</p>	<p>【今後の方向性】 ・活用中及び準備中の3院については、そのまま取組を進めてもらう。 ・現在、医療と介護の連携については、他にも次のような取組が実施されている。これらの取組を整理し、共通様式の活用については、整理後改めて検討を進めたい。</p> <p>■取組① 入退院時連携マニュアル 在宅医療・介護の連携の一つとして、田川市郡及び田川市地域包括支援センターが作成し、定期的に見直しを行っている。その中に「入院時情報連携加算に係る様式例」及び「退院・退所加算に係る様式例」が記載されている。 →田川市郡のマニュアルとして病院や介護事業所(ケアマネ)に配布されているもの。様式の内容(病院が現在作成している退院・退所加算様式との整合性など)や配布状況について確認を行う。</p> <p>■取組② 入退院時等連携会議 田川市が田川医師会に委託し、年2回程度開催している。病院関係者やケアプラン、訪問看護関係者等が参加している。(別紙1-2) →会議内で関係者の意見を再度伺う。ただし、参加状況などの必要に応じて、病院側と介護側が直接意見を交換する場を設けることなどを検討する。</p> <p>■取組③ 田川地域在宅利用介護連携 成果指標・社会資源調査ワーキンググループ 今年度から体制を改め、今後の取組を検討する(6/27第1回会議)。参加者は医師、訪問看護、ケアマネ、県立大教授、県栄養士会など。</p> <p>■その他 共通様式以外で、望まれる情報共有の手法があるか、当事者から意見の収集を行う。</p> <p>・令和6年度の実施状況に応じて、令和7年度の方針を決定する。</p>

退院時情報記録書(共通様式)活用の市内 7 病院対応状況

別紙1-1

	病院名	状況	詳細	課題・今後の方針
1	医療法人 和光会 一本松すずかけ病院	活用中	<ul style="list-style-type: none"> 共通様式を使うのは難しいため、精神科の内容に合わせてサマリーを作り直した。 いったんプレ運用を行い、様式を微修正した。その後、5月から正式運用を開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 不具合や利用者の反応について、2か月程度使用した時点(令和6年7月末ごろ)で検証を行う予定。
2	医療法人社団 敬信会 大法山病院	活用可能	<ul style="list-style-type: none"> 病棟師長と協議し、案件は少ないが活用してみることになった。郡への退院が多く、市施設へは少ないため、年1~2件になる可能性あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で対象となる案件なし。看護サマリーとするには内容が不足しているため、案件があった際は、看護サマリーと別に共通様式を作成する予定。(事務が対応)
3	社会福祉法人 柏芳会 田川新生病院	活用予定 (準備中)	<ul style="list-style-type: none"> 看護サマリーと共通様式の項目を比較し、共通様式のみにある項目(睡眠等)を看護サマリーに追加することとした。追加項目決定済。 	<ul style="list-style-type: none"> 追加項目が決定したので、今後様式の修正を行う。遅くとも10月には使用開始する見込み。
4	社会保険 田川病院	検討中	<ul style="list-style-type: none"> 院長を含めた管理者会議にかけ、進める方針ではあるが、他病院の状況や介護側の意向が不明のため動きづらい。すぐに進めるのは難しいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール感や他病院の取組状況を共有したい。共通様式自体については、介護側から改善の余地ありとの意見も聞いたので、もっと煮詰める必要があるのではないかと。
5	田川市立病院	検討中	<ul style="list-style-type: none"> 医療と介護の連携は必須なので、活用に向けて前向きに進めていきたい。ただし、実際に活用するまでの課題も多い。 病院の性質からも、田川市立病院と社会保険田川病院は運用を揃えた方がよいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護サマリーとの重複や作成書類の増加、患者の状況(属性)によって使い分けが必要など、かなり課題がある。内容に応じて空欄も可とする、病院によって様式を修正するなど、柔軟性をもってやれる方がよいのではないかと。
6	医療法人 鷹ノ羽会 村上外科病院	活用不可	<ul style="list-style-type: none"> カルテは全て手書きのため、ナースの負担が増えてしまう。導入は難しい。 	
7	医療法人 昌和会 見立病院	活用不可	<ul style="list-style-type: none"> 様式の活用は難しい。 	

令和5年度 第1回 田川市入退院時等連携会議 出席者名簿

令和5年8月29日(火)

所属団体名	役職	職 種
田川市立病院 医療支援センター	副センター長	事務職
田川市立病院 医療支援センター	主任社会福祉士	社会福祉士
社会保険 田川病院	医療相談室長	医療ソーシャルワーカー
医療法人 昌和会 見立病院		精神保健福祉士
医療法人 鷹ノ羽会 村上外科病院	病棟師長	看護師
医療法人 鷹ノ羽会 村上外科病院	病棟主任	看護師
田川市 主任介護支援専門員 (暖家の丘ケアプランサービス)	管理者	主任介護支援専門員
田川市 主任介護支援専門員 (ケアプランサービスはるか)	管理者	主任介護支援専門員
田川市地域包括支援センター		主任介護支援専門員
田川市地域包括支援センター		主任介護支援専門員
田川地区訪問看護ステーション連絡協議会 (はろうず訪問看護ステーション)	連絡協議会 代表 (管理者)	特定看護師
田川地区訪問看護ステーション連絡協議会 (真希訪問看護ステーション)	連絡協議会 副代表 (管理者)	看護師
福岡県田川保健福祉事務所(健康増進課)	係長	管理栄養士
福岡県田川保健福祉事務所(健康増進課)	在宅医療・介護連携支援員	保健師

事務局

田川市 高齢障害課	課長	事務職
田川市 保健福祉課	主任	事務職
田川市 保健福祉課	主事	事務職
田川市 高齢障害課	係長	事務職
田川市 高齢障害課	主任	保健師
一般社団法人 田川医師会	理事	医師
田川医師会 在宅医療・介護連携支援センター	センター長	事務職
田川医師会 在宅医療・介護連携支援センター	相談員	看護師
田川医師会田川市在宅医療・介護連携支援相談室	相談員	看護師

令和6年度 第1回 医療・介護・住まい部会

資料2-2

事業の柱	A 在宅医療・介護の提供	担当課	高齢障がい課 高齢介護係
事業	イ 多職種連携のための場づくり		

事業名	令和6年度(今年度)取組内容	令和7年度(来年度)事業方針
ケアカフェたがわ	<p>例年同様、地域ケアに関わる専門職及び地域住民(50人程度)がグループ討論や意見交換を行うイベントを開催。 (「ケアカフェたがわ」と題し、年3回程度の開催を予定)</p> <p>これに加え、令和6年度は「<u>ケアカフェたがわ市民公開講座</u>」として、<u>市民を主なターゲットとした大人数の講座を新たに開催する</u>。看取りの実例を通じた講演を聴き、看取りの対応や心構え等について学ぶことができる。</p> <p>なお、市民公開講座は、以後、3~4年に1回程度の頻度での開催とする予定である。</p>	<p>令和6年度事業を継続して実施する予定 (市民公開講座は3~4年に1回程度の頻度で開催予定のため、7年度は予定なし)</p>

◎部会目標 高齢者が住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスが受けられる

事業の柱	A 在宅医療・介護の提供							
事業	ア 医療と介護の情報共有の仕組みづくり	イ 多職種連携のための場づくり						
担当課	保健福祉課 福祉政策係 高齢障がい課 高齢介護係	高齢障がい課 高齢介護係						
令和5年度 事業実績	<p>【保健福祉課】</p> <p>●地域医療構想等について(田川地域医療構想調整会議の内容を含む)</p> <p>1 在宅医療等について</p> <p>地域包括ケアシステムでは、住み慣れた地域で自分らしい生活を続ける、という基本的な考えと方向性が示されており、それを実現するためには、医療の安定的な提供が大きな役割を担っている。そうした中、外来機能の明確化・連携を強化(かかりつけ医機能の強化)し、患者の流れを円滑化するために検討が進められている。急性期、慢性期、回復期、それぞれの患者のステージに見合った対応をどの医療機関が担うのか、どうすれば、安定的な医療資源が確保できるのか、といった論点で進められているところである。</p> <p>慢性期から介護施設、在宅医療への円滑な移行、また、そうした需要を見据えながら協議が行われている。</p> <p>2 医師の確保について(働き方改革の影響から)</p> <p>医師の働き方改革として、令和6年4月から医師の時間外・休日労働時間の上限規制が開始される。これに関して、派遣医師が診療を担っている田川地区急患センターも田川労働基準監督署に許可申請を行い、許可が下りたため、医師の時間外勤務を通算する必要がなくなり、現在の診療体制を維持していける見込みである。</p> <p>しかし、医師の執務時間が減るというものではないため、医療現場の状況に注視しながら、適正な配慮を行っていかねばならない。</p> <p>●医療と介護の連携について</p> <p>市内で入退院の取扱いが多い7病院(田川市立病院、社会保険田川病院、村上外科病院、一本松すずかけ病院、田川新生病院、見立病院、大法山病院)を訪問し、退院時情報記録書(共通様式)の活用について投げかけた。</p> <p>結果は次のとおり。 (内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>活用を前向きに検討</td> <td>3病院</td> </tr> <tr> <td>検討中</td> <td>1病院</td> </tr> <tr> <td>活用は難しい</td> <td>3病院</td> </tr> </table> <p>【高齢障がい課】</p> <p>●医療・介護関係者間の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養のしおりの更新(医師会) <p>●入退院時等連携会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5.8.29 第1回入退院時等連携会議 R5年度の「入退院時連携マニュアル」の報告、退院時情報提供書の作成についての報告、主任介護支援専門員からの報告 ・R5.1.25 第2回入退院時等連携会議 <p>●入退院時連携マニュアル作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川市郡で更新作成を行い、各事業所等へ周知・配布 	活用を前向きに検討	3病院	検討中	1病院	活用は難しい	3病院	<p>【高齢障がい課】</p> <p>●田川地区多職種連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5.11.17 田川地区多職種連携研修会(医師会) 「みんなで挑む医療・介護の大変革」 ハイブリッド研修 参加者:98名 ●ケアカフェたがわ ・R5.7.21 第1回「人生の終わりまでどのように過ごしたいか」 ～もしものためのもしバナ～ 対面研修 参加者:54名 ・R5.11.30 第2回「田川でもできる!自分の家で最期まで」 対面研修 参加者:69名 ・R6.2.22 第3回「尊厳死についてあなたはどのように考えますか～自分の意志で救命処置をしないということ～」 対面研修 参加者:64名
活用を前向きに検討	3病院							
検討中	1病院							
活用は難しい	3病院							

◎部会目標 高齢者が住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスが受けられる

事業の柱	B 高齢者の居住確保	
事業	ウ 住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進	エ 高齢者向け賃貸住宅の供給促進 及び施設等の整備
担当課	建築住宅課 住宅政策係	高齢障がい課 高齢介護係 建築住宅課 住宅政策係
令和5年度 事業実績	<p>【建築住宅課】</p> <p>●民間住宅への取組みについて</p> <p>・民間住宅(個人)の住宅改修助成事業は、32件・助成額 514 万円の事業実績であり、そのうちバリアフリー改修は14件(43.7%)・助成額 248 万円(48.2%)であった。また[田川市住宅マスタープラン]に基づくリフォーム・バリアフリー化拡充施策の改定が R5 年度であったが、予算調整により R6 年度に繰り延べとなり新制度の開始が遅れることとなった。</p> <p>●市営住宅への取組みについて</p> <p>・老朽化市営住宅の対象団地(日吉町・中央・新野上・平和)の住民の継続居住希望者7戸(R4 年度末時点)に対し移転を勧める交渉を行ったが、引き続き7戸が継続居住を希望している。</p> <p>・向陽台団地(高層 80 戸 橋梁 造成)の建設工事を R7.10 の建替移転入居を目指して実施していたが、土壌汚染の判明によりその対策に時間を要するため、1 年以上延期する見通しとなった。</p>	<p>【高齢障がい課】</p> <p>●施設等の現地調査</p> <p>・地域密着型サービス事業所において、新規指定及び指定更新(6年に1回)に係る現地調査を実施 更新対象事業所(入所系)1 件実施</p> <p>●介護施設等の利用状況調査(令和 5 年 12 月 1 日現在)を実施</p> <p>・入所率 88%</p> <p>●施設整備の方針について</p> <p>・介護保険施設の整備については、福岡県高齢者保健福祉計画の中で施設整備量を計画し、計画期間の 3 年間で整備している。本市については、今期計画(令和 3 年度～5 年度)は整備予定なし。</p> <p>・令和 5 年度末までに次期計画(令和 6 年度～8 年度)である「福岡県高齢者保健福祉計画(第 10 次)」及び「福岡県介護保険広域連合介護保険事業計画(第 9 期)」を策定することから、福岡県による施設整備意向調査において田川市の施設整備については、整備しない方針で県に報告している。</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>●市営住宅への取組みについて</p> <p>・高齢者対応賃貸住宅に取り組まなければならない建替建設予定の向陽台団地(高層 80 戸 車いす対応平屋 10 戸)の集合住宅は、高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)に即した整備とするため団地敷地全体の複合するインフラ調整を行い事業を進める事ができた。</p>

◎部会目標 高齢者が住み慣れた地域に必要な医療・介護サービスが受けられる

機関名	取組	具体的な内容
田川医師会	多職種連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携協議会及び多職種意見交換会 ・田川地区在宅医療多職種連携研修会(在宅医療・介護連携推進事業の先進地である飯塚地区の成功事例研修) ・医療介護連携研修会(とびうめネット等 ICT を利用した多職種連携システムの紹介) ・施設看取り研修会(ハイブリッド形式で実施)
	在宅医療に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療相談窓口の設置及び田川医師会ホームページ「在宅医療のしおりデータ」の更新 ・地域医療構想、田川医療圏の策定参画 ・在宅医師同行訪問事業 ・休日での看取り輪番の取組み ・医師に対しての在宅医療の取組みについてのアンケート調査実施(訪問医の確保に向けて)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民公開講座(治療ができる認知症もある～脳神経外科の立場から) ・田川市在宅医療・介護連携推進事業の受託(ケアカフェたがわ・地域住民座談会参画)
福岡県介護支援専門員協会	多職種連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・田川地区在宅医療・介護連携推進委員会推進委員 ・ケアカフェ田川コアメンバー ・田川地区難病対策協議会
	研修会等の開催・参加	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県介護支援専門員協会研究大会 ・主任介護支援専門員フォローアップ研修会(5回シリーズ) ・田川地区サービス事業所連絡会(研修会開催)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・田川市・福智町地域包括支援センター事例検討会(コアメンバー)
田川歯科医師会	多職種連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・田川地区在宅医療・介護連携協議会への参加 ・田川地区地域医療構想調整会議への参加 ・3ブロック合同在宅医療・介護連携協議会への参加 ・3ブロック合同多職種連携協議会への参加 ・田川地区在宅医療・介護連携推進協議会意見交換会への参加
	研修会等の開催・参加	<ul style="list-style-type: none"> ・3ブロック合同多職種連携研修会 ・ケアカフェ田川
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・上記研修会等の会員への周知
田川薬剤師会	多職種連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカフェ田川検討委員会参加 ・田川地区在宅医療介護連携協議会参加
	研修会等の開催・参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカフェ田川の会員への周知・伝達 ・市町村の依頼に対し、講師派遣のための体制作り
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村の健康展参画
田川地区訪問看護 ステーション連絡協議会	多職種連携について	<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関と連携を図っている ・ケアカフェ田川検討委員会(田川市主催) ・田川地区介護サービス事業所協議会 ・バリアフリーボランティアへの参加 ・田川市立病院緩和ケア病棟の紹介動画
	研修会等の開催・参加	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県訪問看護ステーション連携強化事業 ・田川地区在宅医療介護連携協議会 多職種合同研修会 ・田川地区介護サービス事業所協議会 高齢者虐待防止研修 ・BCP 策定ワークショップ(筑豊地区)
田川地区 PTOTST 連絡協議会	多職種連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカフェたがわコアメンバーとして研修会協力 ・在宅医療介護連携推進協議会(上田川、中田川、下田川地区)定例会への参加
	研修会等の開催・参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカフェ田川への参加 ・在宅医療介護連携推進協議会全体研修への参加 ・田川地区 PTOTST 連絡協議会研修会開催 ・筑豊地区 PTOTST 連絡協議会研修会開催協力、参加
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・香春町公民館で介護予防教室の開催 ・田川市いきいき健康教室(猪位金3区) ・市民団体(健康たんとう倶楽部)活動への助言、サポート ・田川市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る事業への協力
福岡県栄養士会	多職種連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県栄養士会「栄養ケアステーション」を中心に実施 ・田川地区在宅医療・介護連携事業への参加
	研修会等の開催・参加	<ul style="list-style-type: none"> ・日本栄養士会主催研修会、福岡県栄養士会主催「生涯学習プログラム」にて研修実施 ・在宅訪問栄養食事指導のできる栄養士の育成(研修会)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議への参加
田川保健福祉事務所	研修会等の開催・参加	<ul style="list-style-type: none"> ・施設看取り研修会(医師会と共催) ・食と健康教室～ACP 講義、もしバナワークショップ ・パーキンソン病講演会・交流会 ・特定給食施設 嚥下調整食に関する研修会 ・ケアカフェ田川への参加
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・田川地域在宅医療支援センターの運営 ・市町村や関係専門職を対象とした在宅医療・介護連携に係る支援 ・「筑豊地区給食施設食形態連携ブック」の更新調査を行い、ウェブサイト上で公開(筑豊栄養研究会との協働事業)